

ようてい・西いぶり広域連携プロジェクト

道央広域連携地域

【概要・目的】

羊蹄山麓・西胆振周辺地域は、従来から経済、生活面において強い結びつきを保っており、今後、高速道路の整備や北海道新幹線の開業と札幌延伸など、環境が変化していく中、地域がさらに連携・協力することにより、自然が織りなす雄大な景観、多彩なアクティビティ、温泉などを活用した観光や大規模災害対策等で、更なる成果を期待することができます。

このため、地域の市町村に加え、道、国の関係機関が協力し、観光、防災、交通・道路整備、人口減少対策等の面での施策を連携し推進していくことにより、連携地域一帯の地域活性化や新たな経済圏の形成を図ります。

【施策展開】

これまでの主な取組実績

■ 広域連携による新たな観光地づくり (国・振興局・市区町村)

- ・パンフの作成や外国人観光客受入体制強化のための英会話研修の実施
- ・巡回ポスター展の開催
- ・NISECO JAPONICAで胆振三大遺産PR
- ・羊蹄山麓町村長会議でのサイクルイベントへの協力、また、地元食材を使用したフェアや統一給食などの事業を検討

■ 広域的な協力・連携による防災体制の強化 (国・振興局・市区町村)

- ・「ようてい・西いぶり広域連携会議」における防災協定の締結

■ 移住・定住の促進

(国・振興局・市区町村)

- ・合同企業説明会や婚活移住イベント等の実施に向けた検討
- ・移住フェアへの合同出展

今年度の主な取組（平成29年度）

■ 広域連携による新たな観光地づくり (国・振興局・市区町村)

- ・後志・西胆振の観光関係者を対象に勉強会開催
- ・冬季のニセコエリアで胆振四大遺産PR
- ・地域の食・観光のプロモーション事業
- ・羊蹄山麓の食材を使ったホテルレストラン限定メニューの提供(札幌市内での「ぐるつとようてい山麓フェア」開催)

■ 広域的な協力・連携による防災体制の強化 (国・振興局・市区町村)

- ・防災協定に定める連携事項の実施にあたり、実施細目を締結

■ 移住・定住の促進

(国・振興局・市区町村)

- ・羊蹄山麓と西胆振地域等の企業を集めた合同企業説明会の開催
- ・地方での暮らしに興味を持つ首都圏女性と地元男性の交流を深めるセミナーやツアーの実施
- ・移住フェアへの合同出展

今後の取組を進める上での主な課題

- ・関係者間の密な連携
- ・広域的な魅力を発信することによる通年型・滞在型観光の推進
- ・一体的な観光エリアとしての認知度向上のための継続的なPR
- ・訓練の共同実施など、相互の災害対応強化につながる取組の検討
- ・地域一帯で効果的なPRを行うための連携拡大

ようてい・西いぶり広域連携プロジェクト

道央広域連携地域

【KPIの状況】

		H26(基準)	H27	H28	H29	H30	H31(目標)
観光入込客数	連携地域	2,240万人	2,410万人	2,392万人			2,789万人
			<進捗率> 86.4%	<進捗率> 85.8%			
	後志地域	933万人	966万人	938万人			1,088万人
			<進捗率> 88.8%	<進捗率> 86.2%			
	胆振地域	1,307万人	1,444万人	1,454万人			1,701万人
			<進捗率> 84.9%	<進捗率> 85.5%			

【施策展開】

次年度の取組(平成30年度)

■ 広域連携による新たな観光地づくり

- ・ 道央・道南地域の広域観光推進のための受入体制の整備と情報発信、プロモーションの実施
- ・ 他地域コンテンツの相互理解を深める意見交換会や観光素材を組み合わせたルートを考察する地域ワークショップの開催
- ・ 室蘭市～岩手県宮古市のフェリー就航に合わせ、オープニングフェア等での「ようてい・西いぶり」エリアのPR
- ・ 羊蹄山麓で開催されるサイクリングイベントに対する後援名義やボランティア派遣による支援
- ・ 洞爺湖・羊蹄山麓周辺を会場とした「北海道トライアスロン」の実施
- ・ 冬季のニセコエリアにおける「胆振四大遺産」のPRや「いぶり食・観光ウィンターイベントinニセコ」の開催

■ 広域的な協力・連携による防災体制の強化

- ・ 防災協定の円滑な運用にむけた連絡通信訓練の実施

■ 移住・定住の促進

- ・ 羊蹄山麓と西胆振地域等の企業を集めた合同企業説明会の開催
- ・ 振興局と市町村が連携した移住フェアへの出展